

平成19年12月期第1四半期業績要約(連結)

1. 業績概要

(単位:億円)

項目	平成19年 第1四半期	平成18年 第1四半期	増減
売上高	2,291	2,054	237
営業利益	150	154	△4
経常利益	106	128	△22
四半期(当期)純利益	65	79	△14
金融収支	△16	△16	0

(ご参考)中間・通期予想 平成19年2月8日発表
(単位:億円)

平成19年 中間期予想	平成19年 12月期予想	平成18年 12月期
4,600	9,600	9,145
300	730	687
240	605	575
120	315	288
-	△81	△57

項目	平成19年 第1四半期	平成18年 12月期	増減
総資産	10,410	10,378	32
有利子負債	4,347	4,332	15

平成19年 12月期予想	平成18年 12月期
-	10,378
4,300	4,332

2. セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)

部門	平成19年 第1四半期	平成18年 第1四半期	増減	
石油化学	売上高	878	706	172
	営業利益	49	29	19
化学品	売上高	188	179	8
	営業利益	16	10	6
電子・情報	売上高	391	388	3
	営業利益	41	80	△39
無機	売上高	187	168	19
	営業利益	43	32	11
アルミニウム他	売上高	647	612	35
	営業利益	14	11	3
共通・本部	売上高	-	-	-
	営業利益	△13	△8	△4
計	売上高	2,291	2,054	237
	営業利益	150	154	△4

(ご参考)通期予想 平成19年2月8日発表
(単位:億円)

平成19年 12月期予想	平成18年 12月期
3,400	3,354
170	164
800	792
60	51
2,100	1,655
300	286
800	743
170	161
2,500	2,601
90	65
-	-
△60	△39
9,600	9,145
730	687

平成19年12月期の連結業績は、概ね平成19年2月8日に発表したとおりに進捗しており、中間期、通期とも業績予想の修正はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



平成 19年 5月 8日

平成 19年 12月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

上場会社名 昭和電工株式会社

コード番号 4004

(URL <http://www.sdk.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 高橋 恭平

問合せ先責任者 役職名 執行役員 IR・広報室長 氏名 佐藤 勝信

上場取引所

本社所在都道府県

東

東京都

TEL (03) 5470 - 3235

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
法人税等の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
- | | | | | |
|-----|------|----|------|----|
| 連結 | (新規) | 0社 | (除外) | 1社 |
| 持分法 | (新規) | 0社 | (除外) | 1社 |

2. 平成19年 12月期第1四半期の財務・業績の概況(平成 19年 1月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 百万円未満の端数は四捨五入して表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 12月期第1四半期	229,079	11.5	15,009	△ 2.6	10,591	△ 17.4	6,473	△ 17.7
18年 12月期第1四半期	205,407	8.0	15,412	23.4	12,821	23.7	7,869	△ 40.1
(参考)18年 12月期	914,533		68,727		57,514		28,836	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年 12月期第1四半期	5.50	5.19
18年 12月期第1四半期	6.89	6.46
(参考)18年 12月期	25.01	23.48

※売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年 12月期第1四半期	1,041,004	266,591	22.7	200.85
18年 12月期第1四半期	972,503	195,439	20.1	171.01
(参考)18年 12月期	1,037,823	265,492	22.7	200.29

3. 平成19年 12月期の連結業績予想(平成 19年 1月 1日 ~ 平成 19年 12月 31日)

平成19年12月期の連結業績は、概ね平成19年2月8日に発表したとおりに進捗しており、中間期、通期とも業績予想の修正はありません。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

4. 経営成績（連結）の進捗状況、財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

(1) 経営成績の進捗状況

当社グループは、平成18年より始動させた長期的・持続的成長への基盤確立に向けた中期経営計画「プロジェクト・パッション」の下、引き続き成長戦略事業の育成を図るとともに、事業構造改革とコストダウン施策を推進いたしました。

平成19年第1四半期（平成19年1月1日から3月31日まで）の売上高は、2,290億79百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は150億9百万円（前年同期比2.6%減）、経常利益は105億91百万円（前年同期比17.4%減）となりました。当第1四半期純利益は64億73百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

セグメント別の当第1四半期（平成19年1月～3月）の概況は次のとおりです。

石油化学セグメントでは、当第1四半期は、前年同期に実施した4年に一度の定期修理がなかったため、オレフィン事業、有機化学品事業ともに、販売数量が増加し増収となりました。昭和高分子株式会社の合成樹脂事業は、販売価格が上昇し増収となりました。

これにより、当セグメントの売上高は877億98百万円（前年同期比24.3%増）となり、営業利益は48億72百万円（前年同期比66.4%増）となりました。

化学品セグメントでは、アクリロニトリルは販売価格が上昇し、苛性ソーダおよび塩酸は、販売数量と販売価格が堅調に推移したため増収となりましたが、酸素・窒素・水素ガス等工業ガスは減収となりました。

特殊化学品においては、合成ゴム「ショウプレン®」、アミノ酸類および分析機器用カラム「ショウデックス®」は、販売数量が増加し増収となりました。

これにより、当セグメントの売上高は187億74百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は15億90百万円（前年同期比55.7%増）となりました。

電子・情報セグメントでは、ハードディスク（HD）事業は、HDの販売数量増加があったもののサブストレートの外販が減少したため前年同期並みとなりました。化合物半導体は前年同期並みの売上となりましたが、レアアース磁石合金は、販売価格が上昇し増収となりました。半導体向け特殊ガスは、液晶パネル向け洗浄剤の販売数量が減少したため減収となりました。

これにより、当セグメントの売上高は391億38百万円（前年同期比0.9%増）となりましたが、営業利益は、HD事業における主力製品の大容量品への移行に伴うコスト増、生産能力増強を前倒しで実施したことによる減価償却費の増加等が重なったため41億10百万円（前年同期比48.8%減）となりました。

無機セグメントでは、セラミックスは前年同期に比し僅かに減収となったものの、人造黒鉛電極が堅調な需要を背景に増収となりました。

これにより、当セグメントの売上高は186億75百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は43億42百万円（前年同期比35.0%増）となりました。

アルミニウム他セグメントでは、圧延品事業は販売数量の増加により増収となり、押出・機能材事業は、販売数量の増加と販売価格の上昇により増収となりました。

また、熱交換器事業はおもに国内において増収となり、ショウティック事業およびアルミニウム缶は、販売価格が上昇し増収となりました。なお、合金事業は昨年同期に事業譲渡いたしました。

これにより、当セグメントの売上高は646億94百万円（前年同期比5.7%増）となり、営業利益は13億83百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

（2）財政状態の変動状況

前期末（平成18年12月31日現在）との比較を行っております。

当第1四半期末の総資産は、原材料の価格上昇によるたな卸資産の増加、設備投資による固定資産の増加等により前期末比31億81百万円増の1兆410億4百万円となりました。有利子負債は、前期末比14億81百万円増の4,346億53百万円となりました。当第1四半期末の純資産は、四半期純利益による増加等により前期末比10億98百万円増の2,665億91百万円となりました。

（3）当第1四半期に実施した主な施策

（電子・情報）

・高性能大型 面発光 有機ELパネルを実現へ

当社は、開発中の独自のりん光発光材料を使用した単層型高分子有機EL素子について、世界最高水準の外部量子効率を達成するとともに、耐久性については35万時間まで到達しております。当社は、本素子を使用した大型面発光パネルの開発を進めており、将来ディスプレイや照明などへの利用が期待されている有機ELパネルの実用化に向けさらなる高性能化を推進してまいります。

・窒化物半導体の新結晶成長技術の開発に成功

当社は、青色・白色LED向けに需要の拡大が見込まれる窒化物半導体結晶の製造プロセス「ハイブリッドPPD™法」の開発に成功いたしました。新プロセスにより、従来方法では品質上困難であった4インチ基板を使用したLED素子の生産を実現するとともに、現時点で出力世界トップクラスの青色LEDの開発に成功いたしました。本製品の販売を本年中に開始する予定です。

(無機)

・ 30および32インチ 大口径黒鉛電極供給体制の強化

当社は、昨年より電炉鋼生産に使用する30・32インチ黒鉛電極の供給体制の強化を日米の2拠点において進めております。国内拠点の大町事業所に建設を進めている黒鉛化炉1系列は本年7月に竣工予定であり、子会社である昭和電工カーボン社(米国)は、年央に生産を開始する予定です。これらにより大口径電極の生産能力を1万5千トンから2万5千トンに増強いたします。本件に関わる設備投資額は約10億円強です。

・ インドネシア・アルミナ計画の事業性評価を行う合弁会社設立

当社は、インドネシアでのアルミナ工場建設に関して、事業性評価を行うための合弁会社インドネシア・ケミカル・アルミナ社を、アンタム社(インドネシア)、スター社(シンガポール)および丸紅株式会社と共同で設立することで正式に合意いたしました。

(アルミニウム他)

・ 中国でのカーエアコン用熱交換器事業を強化

当社は、中国におけるカーエアコン用熱交換器製造会社「大洋昭和汽車空調(大連)有限公司」への出資比率を引き上げ、連結子会社化することを決定いたしました。あわせて、同社の生産能力を増強するとともに、従来品に比べて約20%の高性能化を実現した新タイプの熱交換器NRTⅢ[®]の生産を開始いたします。

・ 昭和ファイナンス株式会社を吸収合併

当社は、金融子会社の昭和ファイナンス株式会社を、本年7月に吸収合併することを決定いたしました。合併により当社がグループファイナンスの機能を引き継ぎ集約することで、効率的な運営を図ります。

要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期末 〔 19.3.31 〕 現 在	前期末 〔 18.12.31 〕 現 在	増 減
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	37,591	55,424	△17,834
受取手形及び売掛金	170,556	176,218	△5,662
たな卸資産	103,281	86,313	16,968
その他	32,265	30,498	1,767
計	343,692	348,453	△4,761
固定資産			
有形固定資産	562,475	549,991	12,484
無形固定資産	17,762	18,408	△646
投資その他の資産	117,075	120,972	△3,897
計	697,312	689,370	7,942
資 産 合 計	1,041,004	1,037,823	3,181
(負債の部)			
流動負債			
支払手形及び買掛金	159,800	161,456	△1,655
短期借入金	99,748	110,348	△10,600
1年以内返済予定の長期借入金	84,062	83,899	163
コマーシャルペーパー	8,000	6,000	2,000
1年以内償還予定の社債	8,500	8,500	-
その他	56,721	58,623	△1,902
計	416,830	428,825	△11,995
固定負債			
社債	40,792	41,257	△465
長期借入金	193,552	183,168	10,383
退職給付引当金	33,943	34,919	△976
その他	89,297	84,162	5,135
計	357,583	343,506	14,077
負 債 合 計	774,414	772,331	2,082
(純資産の部)			
株主資本			
資本金	111,057	110,824	233
資本剰余金	27,116	26,883	233
利益剰余金	49,154	47,333	1,821
自己株式	△164	△152	△12
計	187,163	184,888	2,275
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	18,742	19,286	△543
繰延ヘッジ損益	3,491	3,607	△115
土地再評価差額金	23,934	23,996	△62
為替換算調整勘定	3,037	3,633	△597
計	49,204	50,521	△1,317
少数株主持分	30,224	30,083	141
純 資 産 合 計	266,591	265,492	1,098
負 債 純 資 産 合 計	1,041,004	1,037,823	3,181

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

項 目	当第1四半期 〔 19. 1. 1から 19. 3. 31まで 〕	前第1四半期 〔 18. 1. 1から 18. 3. 31まで 〕	増 減
売 上 高	229,079	205,407	23,671
売 上 原 価	193,878	170,093	23,785
売 上 総 利 益	35,201	35,314	△113
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	20,192	19,902	290
営 業 利 益	15,009	15,412	△403
営 業 外 収 益	2,128	1,234	894
営 業 外 費 用	6,545	3,825	2,720
経 常 利 益	10,591	12,821	△2,230
特 別 利 益	1,818	591	1,227
特 別 損 失	699	534	165
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	11,710	12,877	△1,168
法 人 税 等	4,659	4,137	523
少 数 株 主 利 益	578	872	△294
四 半 期 純 利 益	6,473	7,869	△1,396

セグメント別 売上高・営業利益

(単位:百万円)

部 門		当第1四半期	前第1四半期	増 減
		[19. 1. 1から 19. 3. 31まで]	[18. 1. 1から 18. 3. 31まで]	
石 油 化 学	売 上 高	87,798	70,638	17,160
	営 業 利 益	4,872	2,928	1,944
化 学 品	売 上 高	18,774	17,938	836
	営 業 利 益	1,590	1,021	569
電 子 ・ 情 報	売 上 高	39,138	38,791	347
	営 業 利 益	4,110	8,021	△3,912
無 機	売 上 高	18,675	16,813	1,862
	営 業 利 益	4,342	3,218	1,125
ア ル ミ ニ ウ ム 他	売 上 高	64,694	61,228	3,466
	営 業 利 益	1,383	1,066	317
共 通 ・ 本 部	売 上 高	-	-	-
	営 業 利 益	△1,287	△842	△446
計	売 上 高	229,079	205,407	23,671
	営 業 利 益	15,009	15,412	△403